昭和52年3月1日発行
第六四号
編集発行 馬路村教育委員会
印刷 安芸印刷

広報うまじ

2月末の人口
世帯数 七〇七
男 九九二人
女 九七五人
計 一、九六七人

⇧馬路小学校々舎改築工事起工式

村長による鍬入れ （1月14日建築現場にて）

日誌

12月
5日＝衆議院議員総選挙
7日～9日＝高知県書道作家巡回秀作展（馬路・魚梁瀬）
10日＝第六回卓球大会（馬路）
15日＝甫木義郎氏叙勲祝賀会
16日～17日＝十二月定例議会
18日＝年忘れソフトボール大会（魚梁瀬）
24日＝馬路小学校建築工事入札・マンドリンクラブ練習風景RKC撮影
27日＝臨時議会
28日＝御用納め
31日＝大晦日

1月
1日＝元旦
2日＝体育始め（魚梁瀬）
3日＝体育始め・成人式（馬路）
4日＝御用始め
6日＝消防出初め式
10日＝安芸郡市中学校駅伝競走
14日＝馬路小学校々舎改築工事起工式
15日＝成人の日
22日＝臨時議会・親子俳句教室（魚梁瀬）
25日＝新入児身体検査（魚梁瀬）
28日＝新入児身体検査（馬路）

議会だより

十二月・一月の議会活動は次のとおりです。

‖十二月‖

8日‖教育厚生常任委員会（馬路小学校建築工事について。）

12日‖安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合定例会（於奈半利町・議長出席）

13日‖林政懇談会（於魚梁瀬・議長・副議長出席）

16日～17日‖昭和五十一年第十三回馬路村議会（定例会）

27日‖昭和五十一年第十四回馬路村議会（臨時会）

‖一　月‖

6日‖中芸消防組合出初め式

12日‖県地方課長等と懇談（於高知市・議長出席）

21日‖県森林土木課長と懇談（於高知市・議長出席）

22日‖昭和五十二年第一回馬路村議会（臨時会）

24日‖高知県阿佐線　建設促進期成同盟会役員会（於高知市・議長出席）

議会事務局

勲五等瑞宝章受章おめでとう

甫木義郎さん（七十一歳）

十一月三日の文化の日に秋の叙勲が発表され、馬路村森林組合長、甫木義郎さんが勲五等瑞宝章を受賞しました。

甫木さんは、馬路公民館々長、村議を経て三十四年から森林組合理事に、一期目で組合長に推され、以後十八年間常勤組合長として県森連理事、安芸郡市森林組合ブロック会長を兼ね、又、魚梁瀬杉を使った工芸品、特産の生シイタケの生産等林業振興に寄与した功績は大きく、今回叙勲の対象となったものです。

＊　＊　＊

＝馬路村功労者に＝

〝乾正志さん自治功労〟〝井上満さん産業功労〟

乾正志さん

井上満さん

馬路村の五十一年度功労者二人が決まり、このほど開かれた臨時議会の席上、村長から表彰状と記念品が贈られました。

表彰されたのは、乾　正志さん（六八）‖自治功労‖と井上満さん（五〇）‖産業功労‖。

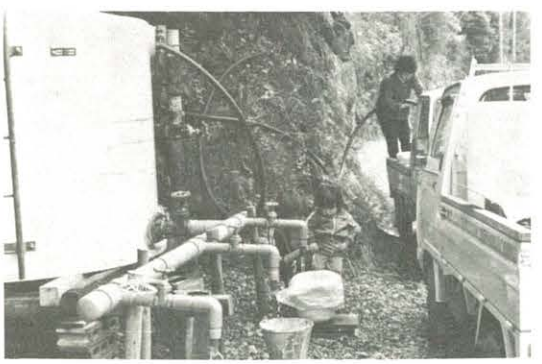
乾さんは昭和十九年に収入役として役場に入り、二十年から二十四年まで助役を一期務め、退職後は、三十五年から現在まで村選挙管理委員の公職のほか、三十八年から五十一年九月まで十三年間、村監査委員として村行政の発展に尽されました。

井上さんは去る二十六年から魚梁瀬杉を主体にした製材工場を経営していますが、これまでの製材だけでなく木目の美しさを生かし、付加価値をつけた木工芸品の製造に着目、四十三年に村内で初めて木製の一輪ざし花びんを製作、民芸品販売ルートに乗せ、以後、民芸調度品、木工芸品の新分野にも進出、地場産業として定着させるなど木材産業を発展させました。

本村の表彰規定は五十年六月に制定されたもので、今回が二回目。第一回目は丸山直次郎さんが産業功労者として表彰されております。

＊　＊　＊

好評!!　馬路温泉



（昭和52年１月下旬午後３時頃）

馬路村に温泉（冷泉）が見つかり去年の七月、中の川でボーリングが開始されてはや八ケ月が過ぎました。

最初の頃は、湧出された温泉をそのまま川に流していましたが、現在では村民の要求もあって、すぐ上の道路まで引き、三㌧の貯水タンクを設置して、誰れでも自由に利用できるようになり、毎日、ポリ容器などで運搬し、温泉気分にひたっている方もいます。

温泉の湧出量は、毎分三十六㍑あり、成分等については、現在、県の衛生研究所で調査中ですが、三月末ごろには、はっきりする予定ですが、大変好評で、土曜日曜などは、温泉くみの車が数珠つなぎになっています。

住民課よりおしらせ

国民年金の保険料が二千二百円に

国民年金の保険料が、今年の四月分から、一ケ月につき二千二百円に改められます。国民年金は、給付費の三分の一を国庫が負担していますが、昨年十月から老齢年金を始めとして、各種年金の額が大幅に引き上げられたこともあって、かなりの保険料引き上げが必要となりました。しかし、みなさんの負担が急に増えることを避けるため、今後も毎年、段階的に引き上げることになっています。

国民年金制度をよりよくするため、保険料の納付にご協力ください。

障害で20歳になった人には障害福祉年金が支給されます

国民年金の障害年金は、国民年金に加入している期間中にかかった病気やけががもとで障害者になった場合に支給されます。しかし、国民年金に加入するのは二十歳からとなっておりますので、二十歳になる前の病気やけがや、先天性の心身障害で困っている人には年金が支給されないことになります。

二十歳前に障害のある人には、児童扶養手当や特別児童扶養手当が支給されています。二十歳になると、このような国からの手当も打ち切られてしまい、不公平となります。

そこで、これらの人には二十歳から障害福祉年金が支給されることになっています。障害福祉年金の支給対象となる障害の程度は、昭和四十九年四月から二級まで範囲が広げられており、年金額は一級で、年額二四三・六〇〇円（月額二〇・三〇〇円）、二級は年額一六二・〇〇〇円（月額一三・五〇〇円）となっております。

なお、障害福祉年金は、恩給や厚生年金保険など受けているときや、本人などにある程度の所得があるときには支給の制限があります。

二十歳前に重い病気にかかったり、身体障害になった人は、二十歳になったときに役場の国民年金係でご相談されることをおすすめします。

このページで御質問のある方は役場・住民課へ 1・54番

20歳になったら国民年金に加入しょう

わが国では二十歳になったその日から、成人として多くの権利や義務が与えられます。厚生年金保険や共済組合等の公的年金に加入していない人が、二十歳から国民年金に加入することも、その義務のひとつです。

老齢年金は二十五年以上保険料を納めた方が、また、通算老齢年金は他の公的年金の期間を合せて、二十五年以上ある方が六十五歳になったときから受けられます。

国民年金の保険料を納めていれば、病気やけがをされたときは障害年金が、あるいはご主人が万一死亡された場合には母子年金、準母子年金、寡婦年金が受けられますし、そのほかに遺児年金もあります。

この国民年金には、物価スライド制が採り入れられておりますので、将来、物価の変動によって受け取る年金額が目減りするようなことはありません。

いざというときのために、そして老後のために、必ず二十歳になったら国民年金に加入しましょう。

早くすませそう 印鑑登録の切り替えはすみましたか？

《期限三月三十一日まで》

印鑑条例の改正に伴い、昭和五十一年五月一日から、印鑑の登録（切替）が行われてきましたが、昭和五十二年三月三十一日をもって、切り替え期間をうちきります。まだまだ多数の方が登録（切り替え）を済ましていませんので、出来るだけ早く期間内にすますようにしてください。

尚、主な改正点は次のとおりです。

○印鑑登録証の発行

申請が受理されますと印鑑登録証を交付します。

○印鑑証明が必要な時

印鑑登録証（印鑑は不要）を持参して証明を受けます。

登録替えの手続きについて必要なもの

○本人出頭の時＝実印持参のこと。

○代理人の時＝本人の委任状又は代理権授与通知書、実印、代理人の印鑑

○印鑑を作り替えた人＝現在登録されている実印と新しく登録する印鑑

登録の出来ない印鑑

① 本人の意志でないと認めたとき。

② 印鑑が明瞭でないもの。

③ ゴム印のもの。

④ スタンプインキを使用しているもの。

⑤ その他、誤りを生じ易いと認めるもの。

なお、くわしいことは役場戸籍住民登録係までお問いあわせください。

ご出産おめでとうございます

父	母	赤ちゃん	続柄	月・日	部落
石原	秀城	澄恵	慎介	長男 12・21	ヤナセ

ごめい福をお祈りします

氏名	性別	行年	亡月日	世帯主	続柄	部落
東谷 豊	女	76	1・2	競	養母	日浦
乾 銀恵	女	84	1・8	光明	母	相名
清岡 二美	女	17	1・20	節夫	長女	相名

〔税務署だより〕

還付を受けるための申告はお早めに

昭和五十一年分所得税の確定申告の期間は、昭和五十二年二月十六日から三月十五日までです。しかし、税金の還付を受けるための確定申告は二月十六日より前でも受付けています。

源泉徴収などされた税金が納め過ぎになっている人は、早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。

〈確定申告で税金がもどる人〉

一、サラリーマンで、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除などを受けることができる人。

二、年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人。

三、株の配当があったり、特定の寄付金を支出したりして、配当控除や寄付金控除が受けられる人。

四、原稿料や利子などの収入があって、それらを含めた全体の所得があまり多くない人。

五、予定納税をしていたが、休業や廃業などのため所得が前年より大幅に減った人。

〈確定申告書に添付しなければならない書類〉

確定申告をするとき、還付を受けることとなった内容（前述の一～五）によって、申告書に添付したり、提示することになっている書類（源泉徴収票・証明書など）があります。

詳しいことは、税務署や税務相談室へお気軽にお尋ねください。

みんなで加入しよう

「スポーツ安全協会傷害保険」

従来より両体育会では、各種のスポーツ活動を計画し実行してまいりましたが、その活動（行事）中に生じた事故等により傷害を被った場合、これを補償するためにこの保険制度を活用して救済措置を講じ、社会一般における体育、スポーツ活動等の普及振興に努めています。

本年4月1日より新たに保険が開始されます。できるだけ多数の方が加入され、スポーツ等が楽しく行えますようぜひお願いします。尚、保険加入者は、馬路、魚梁瀬体育会の会員となります。内容については次の通りです。

(1) **対象となる事故**

① 被保険者（保険加入団体の団体員）の所属する団体の管理下における活動中の傷害。

② 団体が指定する集合、解散場所と被保険者の住所との通常の経路往復中の傷害。

(2) **保険料及び保険金額**

保険料	死亡・後遺障害保険金額	医療保険金日額	
		通院中	入院中
300円	3,000,000円	1,000円	1,500円

(3) **保険金の支払方法**

ア死亡保険金……傷害の日から 180日以内にその傷害がもとで死亡したとき…… 3,000,000円

イ後遺障害保険金……傷害の日から 180日以内にその傷害がもとで後遺障害が生じたとき……その程度によって保険金額の3%～ 100%

ウ医療保険金……医師の治療を受け平常の生活または事務ができるようになるまでの間、治療日数1日につき医療保険日額をお支払いします。（事故の日から 180日を限度とする）

ただし通院の場合……90日限度

入院の場合…… 180日限度

(4) **保険金が支払われない場合**

傷害事故であっても傷害保険普通保険約款および特約事項に定めているものには、保険金の支払いをいたしません。

馬路、魚梁瀬体育会、馬路村教育委員会

◎火災から命を守る8つのポイント

1、老人や子供は、早く逃げらるよう、安全な所へ寝かせる。

2、体の不自由な人や老人、子供などを残して外出することは、なるべくしない。

3、出入口や廊下に物を置かない。

4、寝タバコは絶対しない。

5、非常の場合に備えて、二箇所以上の「避難」方法を決めておく。

6、着替えなどにこだわらず、そのまますぐ逃げ出す。

7、逃げ遅れた人がいる時は、早く消防隊に知らせる。

8、外出前、就寝前には必ず、「火の元」をたしかめる。

中芸消防組合馬路分所

〔四国電力だより〕

〝さわるとビリビリ する電気器具は〟

電気釜などの電気器具にさわったとき電気がピリピリッときて、驚かれた経験をお持ちの方もあると思います。

これは、電気をしゃ断した絶縁物が古くなったり、コードが古くなって被覆が破れ、コードの芯が電気器具にふれているような場合です。

お宅でお使いの電気器具がこのような状態になったら、なるべく早く、もよりの電気器具店にお持ちになって修理してもらいましょう。このような修理は簡単にできますので、早く直して電気は、安全、便利に使いましょう。

〝目を守りましょう〟

最近では児童、生徒の近視が急増しており、特に中学生、高校生の近視増加が目立っています。

目を守る一つの方法として、勉強部屋の照明にも気をつけましょう。勉強部屋は、部屋全体の照明に、机の上へのスタンド照明との併用がぜひ必要です。

電気スタンドも中学生になりますと本の活字も小さくなるので、15ﾄﾜｯ以上の明視スタンドが必要です。

その他に、テレビによる目の疲れも大きな原因となっています。

テレビを見る時は必ず2ﾒｰﾄﾙ以上はなれて、時々目を休めて疲れをとる ことなどに家族みんなで気をつけて目を守りましょう。

お気軽に御相談下さい。

四国電力株式会社

保健婦室

外国人に比べて日本人はむし歯が多いといわれていますが、特に幼児期のむし歯は年々ふえる一方。厚生省が昭和四十四年におこなった実態調査の結果をみますと二才児で四十七%とすでに半数近くがむし歯にかかっています。さらに三歳になると八十七%以上、そして五歳になるとなんと九十七%余とほぼ全滅のありさまです。

「子供の歯はどうせ抜け代るものだから…」といったお母さんの言葉が聞かれます。確かに乳歯は生え代ります。また人の一生を眺めれば永久歯とのつきあいの方が断然長いのはいうまでもありません。しかし、ここで忘れてはならない事が一つあります。ご存知のように最初に歯が生えるのは生後六～七ケ月ごろで乳歯が全部生え揃うのは大体二歳半前後ですが、これが完全に永久歯に代るのは十一歳ごろになります。この二歳から十一歳までという期間は子供の身体の発育・成長が一番さかんな時でもあります。このような大切な時期に乳歯にむし歯があって食べる物がよくかめなかったり、痛みがあったりすると栄養が十分とれなくなることはもちろんのこと偏食にもなります。お母さん方がいくら栄養の事を考え料理をしても無駄なことです。乳歯が大切な理由はそれだけではありません。

歯の並びが悪かったり、前歯が欠けて根だけになっていては、おしゃべりをする時に息がスースーもれてしまい、正しい発育が出来ません。そのうえ乳歯は類や顔の発育にも大きな影響を与えています。またひどいむし歯におかされた乳歯は永久歯とスムーズに生え代ることができず大きくなってから出っ歯やそっ歯、乱ぐい歯、八重歯を作り歯並びを悪くする原因にもなります。このように問題の多い乳歯のむし歯は一度出来ると大変やっかいです。乳歯のむし歯は永久歯とちがって歯の硬い部分が薄いので進行も早いし、多発もするわけです。むし歯は放っておいて絶対治るものではないので早い時期に治療する事が大切ですしその前にむし歯をつくらない事がもっと大切です。

『一生丈夫な歯で過す為に』

(1)一生丈夫な歯ですごすには三歳迄が勝負です。三歳迄にむし歯予防の習慣をつければ一生丈夫な歯ですごせるとさえいわれています。

スプーンが持てる様になれば歯ブラシを持たせましょう

(2)生まれた時からお口を清潔に

ミルクを与えたあと、離乳食を与えたあとは必ずさ湯、お茶をのませてお口の中に残った食べものを洗い流し、いつも口の中を清潔にする習慣を歯のはえ始める前からつけましょう。

(3)スプーンがもてる年には歯ブラシももてます。

スプーンがもてるようになればおもちゃを与えるつもりで歯ブラシをもたせて下さい。じょうずにみがけなくてもいいのです。歯ブラシの刺激になれさせておくことが大切です。じょうずに歯みがきが出来るようになった時、歯ブラシを痛がったり嫌ったりせずに歯みがきが出来る子供になります。

(4)食べたらみがく習慣を

甘いものの食べ過ぎは決して良いことではありません。しかしむし歯にとっては甘いものを食べる事よりも、もっと悪いのは、食べもの、特に甘いものを口の中に長くとどめておく事です。コマーシャルじゃないけど**「うちでは甘いものを制限するよりも食べたらみがく習慣をつけています。」**

むし歯のない丈夫な歯をもっていることは一生の大きな財産です。お母さんの少しの心がけで子供に大きな財産を作ってあげませんか。

ただ今がんばっています

福本信子さんは、馬路村に駐在保健婦として赴任して二年を迎えようとしています。毎日元気に活躍し、住民の健康を願って、巡回相談や役場の保健衛生担当者と保健衛生業務に励んでいます。

さて、忙しい毎日の一部を紹介しますと前任者の引きつぎもありますが、毎月一回、馬路地区の下田部落の下田富治身さん宅で、近所の婦人が中心となり、毎回六～七人の出席で、健康体操、食生活病気予防、血圧測定等テーマを決めて健康相談を行っています。

下田富治身さん宅にて

身近な世間話をまじえてのこの会も、地元ではなかなか好評で、特にお年寄の方は役場の保健婦さんの所まで出かけていく必要もなく、普段着で気軽に勉強できるとの事です。

下田さんの話では、当初は相名会館でとのことでしたが、地域が広くなると連絡等がゆきとどかず、皆んなの気持が一つにならないので、まず自分の地区から始めたそうです。

又、現在迄続いているのは、世話役としての下田さんの協力も忘れられません。なお、他には魚梁瀬の老人クラブが集会所で約十五～二〇人で月一回、馬路では東川会館で六～七人が月一回健康相談をしています。

保健婦さんもこのような集りがほかでもあれば、ぜひ出かけていきたいと言っています。若くて、活動的で、ほがらかな保健婦さんです。皆さんも気軽にたずねて下さい。訪問等で外出して不在の事がありますので、おいでの際は電話等で予定をお確かめ下さい。

広場

おらんくの村に温泉わく

浜渦千鶴影

まるで夢のような話で、大分前から今の場所に温泉らしきものが出て居ると、誰が言うとなく聞いた事がある。まさかと思っていたら、いつのまにか本当になり村でのボーリングが始まった。

一度は余り成果がないとの話、だが二度目から成功して夢のような話が着々と実現してきた。今から何年前か北川村、小島に温泉が出たとの事、まさかとその時も思った。あの静かな山村にと我耳を疑った事であったが、はっきり温泉とうぶ声をあげたまもなく、近代的な建物ができ、北川村森林センターとして今では村内はもとより、村外県外から静かな自然に包まれた温泉に保養する人達が後をたたないという。

おらんくの村も負けますまい。今では温泉が大きなタンクにいっぱいあふれて居る。お昼過ぎから村の人達が、それぞれの入れ物を持ち、温泉をくみに行く。それも役場からの放送があったその時から、我も我もと温泉をくみに行く。自分もその一人である。

ああ、自然よ、温泉よ、いつまでも消えないでくれ。自然はいつも自分達を生き生きとさしてくれる。ああ自然よ、いつまでも清らかな空気をそそいでくれ。

おらんくの村も一日も早く保養センターなど建築して、多くの人達に愛用される事を望みたい。

草くう先生の話⑪

〝ツバキの花は風雅な味〟

図示するまでもなく赤いツバキの花、この里の山かげにひっそりと自生しているのはヤブツバキである。庭木にも好んで植えられている。目で楽しむだけのツバキに、こんな風味が、そして食べ方があったのかと、あらためてこの花木を見なおすことであろう。いわば風雅な味の持ち主である。食用部位はもちろん花、半開きか開いたもの、あまり古くなったものは避ける。花弁を一枚一枚摘み取ってもよし、花芯の部分（雄しべのかたまり）をむしり取ったままでもよい。もちろん、つけ根のがくの部分は取り除く。

調理法はいたって簡単、いつか紹介したとおりの薄いコロモをくぐらせて、てんぷらに揚げると珍味、あの赤い花びらが紫色に揚がる。花弁を軽く塩ゆでして、酢のものや酢みそあえにしてもよい。十一月ごろから五月ごろまで採取できるのもありがたい。

園芸品種はひじょうに多く、一重咲き、八重咲きと色とりどり、サザンカを含めてこの仲間の花は全部食用となるので、一度ぜひおためしの程を。

魚梁瀬　島崎　英夫

春をよぶ ふきのとう

〈二月十三日安田川にて〉

文芸欄

魚梁瀬俳壇

〝木枯〟〝凩〟

凩や一日がかりのおでん煮る　小菊
木枯や海金色に日を沈め　亀寿
凩や古寺の鐘力なし　吉子
凩やかけ忘れたる木戸の音　美恵
木枯や着ぶくれて這ふ孫の顔　キク
木枯や村の床屋の捩りん棒　寅次
凩に吹きさらせし頬赤くなり　喜余子
木枯や空に一羽の鷺が舞ふ　敏博
目覚むれど木枯の音まだ止まず　房見
凩に我身打込む山仕事　茂
木枯や雨にさまよへる妊犬　鉄野
木枯や雨ともなひて去りにけり　唯江
木枯に吹かれ〳〵て農に暮れ　浪江
木枯に砂ぼこり舞ふ道遠く　勝子
木枯の吹き抜けてゆく魚市場　幸男
梢の陽の陰りて凩つのりけり　勝子
凩や教経塚の石の肌　琵琶子
凩や片鎌月の落ちむとす　風子
〝冬枯〟　英夫
冬枯や岬を遠く水光る　亀寿
冬枯の里に梶蒸す煙立つ　房見
冬枯の径に風化の道祖神　茂太郎
冬枯のかや野に坐せる猟夫（まぎ）連れ　幸男
冬枯やつひに一日のふところ手　小菊
冬枯や籔の中より童うた　吉子
冬枯の川細々と海に入る　唯江
冬枯の径しろ〴〵と続きをり　鉄野
冬枯に川の流れや細くなり　定功
冬枯やまだ日の残る山下り　浪江
冬枯や白き山々汽笛鳴る　キク
師を見舞ふ冬枯の道足重し　勝子

道標（みちしるべ）

＝19＝

部落に対するあやまった考え方

部落の人びとと庶民支配の体制

徳川幕府は、年貢や税金の対象となる百姓町人以外の人びとや、反徳川的な人びとを、その時の生活状態で「部落民」としたものと考えられます。その中には、長い戦国時代に戦禍の犠牲者となった武士や地主、百姓たちもあったでしょう。手工業者、武具づくり、宮廷の奉仕者、遊芸、占者やその日暮しの雑業者もあったと思われます。そして、それらの人びとをそのまま放置したのでは他の者とはっきり区別ができないので、「地域外の地域」として指定したところに強制的に住まわせました。この地域は、里程の計算からも除外されており、河原とか崖の下、山すそや谷間、排水の悪い低湿地帯など、およそ普通の人では住めない地域で、税金の対象などにはならない条件のわるい所に多く設けられています。漁村でも舟つきが悪く漁業のできない不便なところが指定されました。

そしてまた、これらの人びとに強要された仕事の中心になったのは、自分でひらいた土地での農耕を除くとつぎの二つがあげられます。

その一つは、皮革製造にかかわる仕事です。これは死牛馬の処理とも関係していますが、皮革は、武具、馬具、あるいは装身具として武士にはたいせつなものでした。

その二つは、「村役人」といわれるような、警察、行刑にかかわる仕事など治安維持にかかわる労役に使われました。たとえば、町や村の警備巡回、罪人のたい捕や護送、牢番や刑罰の執行、目明しなどの探索、捕吏の役目の手先などとして使われました。

また百姓が、重税や労役など、政治に不安をもっての騒ぎが起きそうになると、その状況を探索するスパイの役を命ぜられ、百姓一揆がおこると村役人はこれを鎮圧する第一線に利用されました。

これらの仕事が、部落と農民、その他庶民との間に大きな溝をつくり、差別と違和感をかきたてて互に憎しみをもち合うようにされていったのです。このあたりにも、庶民支配のための身分制度の巧妙なからくりがよくわかります。

思うままの権力をふるっていた徳川幕府も百年ほどたつとだんだんぐらついてきました。商品経済の発展は、四民のなかでも最も低い身分とされていた商人の実力をたかめ、四民の支配的立場にあった武士階級の人々の日々の生活は苦しくなってきました。武士はもちろん大名までも町人たちから借金するようになりましたが、収入が特別にふえるわけでもないので、金を貸した町人の社会的な立場は有利になり、大阪をはじめ、江戸や京都では大商人が実力をつけてきました。

こうした苦しい経済や政治状態をきりぬけるため、幕府や大名は農民や町人に対して厳しい行政施策をとり、しめつけをさらに厳しくしてゆきました。たとえば、農民に対して「五人組」制度をつくり、連帯責任で年貢が完全に納められるようにしたり、農民や町民にぜいたくな生活をさせないため、「百姓の女は髪を結うのにわらを使え」とか「米麦などのたいせつな食物をむざむざ食いつぶすな」とか、着物や日常生活の細かいところまでを規制し圧迫を加え年貢をさらに多くとろうとしました。

これは、ただでさえ苦しい生活をしている農民たちを一だんと苦しめ、このため小作におちぶれたり、家族ぐるみで逃亡したり、時には追いつめられた農民が団結して百姓一揆や強訴によって激しく抵抗することもありました。

このようにして、農民から年貢をとりたてる厳しい政策をつづけましたので、武士や幕府に対する不平不満はますます強くなりました。そこで幕府はこれら農民たちの不平不満をやわらげその反感をそらせるために、「上見て暮すな下見てくらせ」とエタ、非人には、農民の何倍もの差別を強化してきました。

土佐藩で、千七百八十年（安永）、千七百九十九年（寛政のころ）に出されたおふれの一部をあげてみますと、

一　部落の人びとが近ごろ、百姓、町人の風をしているので、これでは区別がつかないから庄屋はとりしまれ。

一　部落の人を座敷へあげた人は罰するし、家の中へ入れてはいけない。

一　男は折りまげくぐりにして、本結で髪をくくってはいけない。女はこうがいなどさしてはならない。

一　お城下は七ツ時（午後四時）以降は通行してはいけない。もし夜になってどうしても通行しなければならない者は、部落名を書いた提灯（ちょうちん）をともすこと。

などのおふれを出しています。

冬枯の庫裡に花梨（かりん）の輝ける　琵琶子

冬枯や祖谷の草屋に人も無く　英夫

〃焚火〃

退職の人黙しつゝ焚火かな　唯江

焚火する事から始まる老の日々　浪江

過不足もなくて余生の焚火かな　小菊

清掃の焚火を囲み語る婦人（ひと）　房見

風舞ふや焚火ぼこりで白毛髪　キク

土工群片足あげて焚火かな　吉子

焚火跡頂上近く伐採（きり）仕舞ひ　幸男

流れ木を集めて磯の焚火かな　美恵

黙しつゝ焚火する輪の中にをり　鉄野

年つまる反古を加へし焚火かな　勝子

くたびれし手袋一つ焚火跡　琵琶子

山峡の明け白々と焚火かな　英夫

教育の窓

続アメリカ視察旅行を終えて

＝魚梁瀬中学校　藤島　善之＝

アメリカの自然は雄大である。サンフランシスコからニューヨークへ、アメリカ大陸のほぼ中央部を横断するとき機上より眺めた気の遠くなるような大平原、万年雪を頂くロッキーの山々、一木一草もなく緑のはいる余地をまったく残さない山間や砂漠地帯等、国土の広大さを十分見せつけてくれる。

太平洋岸のサンフランシスコと大西洋岸のニューヨークでは、三時間の時差がある。我々にとってこの時差を経験すること自体おどろきである。

本土を南北に流れるミシシッピ川は、全長六三五〇粁あるという。日本では想像できない長さである。

ナイアガラの滝は五大湖のひとつエリー湖とオンタリオ湖を結びアメリカとカナダ国境を流れるナイアガラ川に架かる巨大な滝である。この滝を見学するために第二の訪問国カナダへ渡る。途中カナダの国境で入国査証の手続きを取るのに全員車より降ろされ一人一人チェックされるという厳しさであった。後で尋ねてみると、モントリオールオリンピックの直後であり、パレスチナゲリラや日本赤軍の侵入阻止のため、特に日本人の入国には厳しいのだときかされなんともやり切れない思いがしながらカナダへ入国した。アメリカ合衆国と隣り合せの国であるが、カナダのオンタリオ州はアメリカとはまたちがった落着きと豊かさを感じさせるすばらしい所である。広い敷地にゆったりしたスペースで建てられた住宅、楓の大木、手入れのゆきとどいた公園、のどかな農園風景など見るもの聞くものすべてが大きな国土を持つ国の国民性が表現されているようで羨ましさを感じた。

次に訪れたグランドキャニオンは全長三四七粁の世界最大の峡谷である。コロラド川が何世紀にもわたって作りだした自然の驚異である。峡谷の深さは一六〇〇米あり、コロラド川の両岸の絶壁は、その浸食による時代時代の地層がはっきり現われており、それが陽光を受けて色とりどりに映えるながめは、たとえようもなく雄大で壮厳さに満ちている。このすばらしい峡谷に見とれながらカメラのシャッターを切りつづけた。出来上った写真を見て、今さらのようにその規模の雄大さと、今なお峡谷間を浸食しながら赤茶けた濁流を運んでいるコロラド川が目に焼きついている。

今度のアメリカ視察でワシントン、ニューヨークをはじめ主要な都市をいくつか見て廻ったが、これらの都市の中で私の印象に残ったところをいくつかあげてみようと思う。

先ず、最初に私が訪問したサンフランシスコは地理的にも歴史的にも、わが国と深い関係にあり、親しみを感じた都市である。有名なゴールデン・ゲート・ブリッジ（金門橋）、急な坂道とケーブルカー。山と海にはさまれた美しい情緒的な町である。金門橋近くの美しい公園の一角で咸臨丸入港百年記念碑を見た。一八六〇年、今から百十数年前、この地を初めて日本人が訪れたことを示す小さな記念碑。勝海舟や福沢諭吉らが、ちょんまげ、袴で威風堂々と上陸したであろうことを思い浮かべながら、この記念碑が日米親善の永遠の礎石になることを願わずにはいられなかった。

サンフランシスコ〝金門橋〟

アメリカの本当のすばらしさを見せてくれた都市はロッキー山脈のふもとのデンバーである。デンバーはコロラド州の州都で、一九世紀の中頃、この地方で「金」が発見され、急ごしらえの町ができたのが市の始まりときく。市の中心にある州議事堂のドームの上には純金箔がはられ金鉱都市デンバーのシンボルとして威光を放っている。

現在も市の中心を流れるチェリー川の上流では砂金が採れるという。ロッキー山岳公園見学の途中実際にその場所を見にいった。ちょうど週末でもあり沢山の人々がピクニックをかねて川の中で砂金を捜しているようすは周囲の風景と共に西部劇のシーンを見ているようだった。

デンバーは市の標高が一六〇〇米あるところから、一般に「マイル・ハイ・シティ」とも呼ばれている。市内には一〇〇余りの大小の公園があると言う。その中でも最大のリンカーン公園はすばらしい博物館や美術館、各種のスポーツができる運動場を持ち、この公園内で多くの人々が思い思いの姿で短かい高原の夏を楽しんでいる風景は絵のように美しかった。また数年前自然破かいを恐れ、一旦決まった冬季オリンピックを返上したことは記憶に新しい。これだけの広大な土地と自然環境を持ちながら、なお且つ、自然保護に理解を示し、自然のすばらしさを守ろうとするこの都市の姿には感動した。

第一次大戦後、急激に発展を続けてきたアメリカ第三の都市ロスアンゼルス。この大都会に日系人が二〇万人近くいるという。この街の一角にあるリツル東京に一歩足を踏み入れると、街行く人々や

看板など日本の町中に立っているような錯覚にとらわれるほどである。

この地に日系人が多いのはアメリカの他の地域に比べて地理的に日本に近かったことと、人種的偏見も東部とはちがい少なく、また温暖な気候条件等、生活しやすい環境であったためだろうと思う。

最後に、おもに東部で感じたことは、我々日本人が欧米諸国中でもアメリカに強い関心を持っているのに対し、一般にアメリカ人の日本理解度は大変低いように思えたことである。リッチモンドの高校視察の際、学生たちが日本に対する知識がほとんどないように思えたし、世界地図で日本を示すと"Small Country"と笑っていたのを思い出す。聞くところによると、小中学校の教科書には今もって、日本について「サムライ」「キモノ」「中国の一部」といったまちがった表現が見られるという。

今、アメリカ各地を旅して、どこへ行っても日本人観光客が多いのに驚き、自動車を始めとする日本経済の進出ぶりには感嘆のほかはない。その反面、日本人の社会や生活など本当の姿を知ってもらうための努力が足りないように思えた。

建国二〇〇年のアメリカ視察は、私にとって大きな刺激となり、本当に有意義な旅であった。

俵山小学校訪問研修記

＝魚梁瀬小学校＝

緑の山影を音信川の流れに映す美しい渓谷に夜行列車便のねむ気を覚ましつつバスで約三〇分極彩色の美しい校舎、これが目的の俵山小学校、海抜一五〇米、日本海側に近く、冬は雪深く、学校周辺は山に囲まれ、児童数一八三名、七学級、傾向としては、体格の格差がひどく、そうたい的に低い。農山村独得の閉鎖性からくる、自主性、社会性の欠如、学習意欲の低調さ等の一般的な特徴があるという。こういう共通の実態であるので、小規模校の私達は、互に通じる悩みを解かんものと遠きを厭わず研修にいった訳である。俵山小学校では、体力作りの目標を「やらせる体育より、やる体育」に おいている。

公開授業

マット、とび箱を使って一斉にスタート、授業は綿密な計画に従って、子ども達とピッタリ密着して進む。私達はくいつくように活動に見入る。屋体のステージに向ってのとびこみ前転、とび箱を縦の方向からの斜めとび、横の方向からの閉脚とびが交互に次々とおこなわれる。別のとび箱では縦から前転、横から台上仰向けとびと交互に一つのとび箱をフルに使ってやっていた。その他にも随所に色々と工夫されている事に深く感心した。

子ども達は次々と自分の力に合わせて、自主的に学習していく。喜びを味わえるようにする為、自由性を取り入れ、疲れた処で班での話し合いの時間をもたせ、次の学習へと進む。機敏な動作、着実に自ら学習を進める姿に大変好感を抱いた。授業者は国語専門の先生だとの事に益々驚いた。

授業が終って、校長、教頭、教務主任と懇談をした。「運動への魅力を育てる体育学習」というテーマに対し生活へのてだてについて尋ねたところ、学校では先生と生徒が一緒に遊んでやること、高学年児が低学年児の身になって遊んでやるとか、遊びの生活化として施設を作ってやる。家庭へ帰っては、縄とび等の遊びを考えるとか、父兄との協力により色々と工夫しているそうであった。

業間体育も行っているそうで、二十五分の時間をとり、年間計画、週計画が立てられ、年間計画では季節毎に全体的な計画を、週計画では全校運動、学年の運動、自由運動に分れていて、各運動を週毎に行っている。

心のこもった茶菓子のもてなしをうけた後、施設環境を見せてもらったが、特に運動用具の豊富な事には驚いた。自分の目にとまったものだけでも、体育館にマットが二十枚位、ボールが五十個位、とび箱が八つあったように思う。それらがいつでも使える場所に置かれ、いつでも手近かに簡単にすぐ自由に使えるように配慮されていた。

後始末の事を尋ねてみると教頭は「やかましく言っていますが、どうも後始末が十分に出来ず困っています」。と苦笑いをしていたが現代っ子のこの点はどこも同じ事かなと思わされた。遠くではあったが色々と参考になり、今後の魚梁瀬教育を進めていくのに大変勉強になった。

馬路中第5位・魚梁瀬中第9位

＝第16回安芸郡市中学校駅伝競走＝

第十六回安芸郡市中学校駅伝競走は、一月十日、室戸岬銅像前から吉良川、羽根、奈半利町、田野町、安田町を経て旧安芸中学校までの四十五・四kmコースにオープン参加の室戸岬を含め計十四チームが参加して行われ、馬路中は第五位、魚梁瀬中は第九位の好成績をおさめました。

結果は次のとおりです。

（　）中は区間順位

五位　馬路中学校

二時間四十五分五十二秒

谷井清人（3）小野真利夫（5）大野孝則（4）井上忠雄（6）清岡達也（5）川本龍也（6）谷口正則（2）甫木義伸（9）

九位　魚梁瀬中学校

小原章一（6）細川正明（10）中屋良弘（8）小原祐二（2）手島裕晋（12）坂本公男（7）山口浩明（12）平　政彦（3）

むだを　なくそう

馬路婦人会

沼津第二中学校を参観して

＝馬路中学校＝

私たち馬路中教員七名は十月十四日より十七日まで箱根、伊豆方面への研修旅行に行ってきました。途中、二日目の十五日、沼津市立第二中学校を訪問し、学校施設、授業等を参観、視察し、学校規模（生徒数七〇〇名、十八学級、教職員三〇名）の違いはあれ教育目標や学習実態にふれて得るところが非常にたくさんありました。

かって、東海道五十三次の宿場の一つであった沼津は、学校周辺だけしか見聞しませんでしたが、校舎から見る風景には国道に残る松並木が何軒も続き広重の浮世絵に見られる道中旅姿の町人が連想され、屋上からかいま見ることのできた富士のいただきと共に往時の東海道が偲ばれました。

この松原は千本松原と言われ、第二中もその保存、管理の一翼を担っているとのことでした。そのため月行事の一つとして松原の清掃作業に全校が取り組み、美観と保全に尽力しています。

またこの千本松原に関係していることは毎年十月には「松蔭祭」と言う名称で、文化祭、体育祭を併行してやるとのことでした。我われが行った時は、その準備にとりかかっている最中とのことでした。松林のなかにテニスコート、トラック、バレーボール、バスケットボールコートなどが点在し、歴史の伝統に囲まれた落ちついた雰囲気のある感じがあふれていました。

私達が訪問すると、早速校長さんが出迎えてくださり、校長室で説明をしてもらいました。若干の手違いがあって、時間割も特別につくって待っていただいたのですが、それも割愛していただき、授業と施設との参観を二組に分れて校舎に散っていきました。

校舎は全体的に言うと老朽化していて、校長さんも「市立中学が五校もあって、市の財政も豊かでないので、改築の運びにはいきません」と言っていました。

参観後の感想は、次の様です。

A先生
1研究テーマがよい。
2わかる授業に先生方は努力している。
3子どもには主体的な態度が見られない。
4発言が少ない。

M先生
1英語＝読めないものがいる。
2活ぱつでない。一部のものだけ活躍している。
3礼儀正しい。のびのびしている。

K先生
1注意深い。集中力がついている。
2態度がよい。

T先生
1明るい表情をしている。
2あいさつも、とりつくろったところがなく、いい感じ。

再び校長室で、参観の質問、感想が校長さんに寄せられました。

校長さんは、
1人事異動にはトラブルがない。四～五年すれば異動の対象になり、希望もかなり入れられる。
2三〇名の全職員が一致してよくやっている。
3教科、クラブに関する研究研修も活ぱつである。

わずか二時間の見学でしたが、六六名の生徒しかいない山村の馬路と七二二名の大世帯の都市部の学校とを比較するのも無理かもしれませんが、参考になる点もあるので＝あげてみます。

1教育目標に共通性がある。自主性、強い意志、社会性など表現は違うが狙っている点は同じである。
2ノーチャイムである。始めも終りもすべて教室、廊下につけられた時計で一せいに行動している。
3生徒会活動にＪＲＣ（青少年赤十字運動）をとり入れ健康、安全、奉仕、親善をモットーにしている。
4ミニ新聞（生徒会広報委員会提唱）を教室の小黒板に一人ひとりつくり感想を発表しあっている。
5ジャージーに背番号をつけている。（生徒が多いのではっきりその所属を確めたいとのことです）。

〔例〕
04…出席番号（この生徒は一年三組四番である）
43…クラス（組）
全員1…学年をあらわす。

先生方と話す機会はなかったのですが、週平均二十四時間、最高二十七時間の授業時数です。倍近くの時間苦労なさっているなあ！私達は恵まれている。もっとやらんといかんと思いながら、次の予定地へと向かいました。

研修視察報告

＝馬路小学校＝

本年度の研修視察を次の二点に決めて実施、一点は造形教育の中で本校が昨年より再開した楽焼きを見学してくること、もう一点は集団学習についてです。

楽焼の参考には、滋賀県の最南端、国道三〇七号線で大津迄四十分、京都迄一時間余りのところ、標高四百メートル余で谷川と山ひだが織りなす高原地にあり、その歴史は長く奈良時代天平十四年聖武天皇が紫香楽宮を造営されようとした頃から始まり、一二〇〇年もの伝統を誇る信楽（しがらき）の陶業を見学しました。

日本文古窯（瀬戸、常滑、越前信楽、丹波、備前）の一つです。

安土桃山時代の茶道が更に庭園や植木鉢に発展したそうです。それが今では種々の物を作っています。特に剽きんな狸が旅人の心を安らげまして、その狸数百匹に迎えられ窯本の二階にて、焼物のむつかしさ、手造りのおもしろさ、二つとして同じ物が焼けない。芸術的な事の説明を聞き工場の中を見学しました。十三の上り窯等さすがに大きく、内原野を思い出しつつ野積の作品を見ると、時代の移り変りにより取り残された炭火鉢がたくさんあり、お持ちになるでしたら差上げますとの事、作品も時代の要求に応じて作らねばとの事でした。

学校のガス窯では温度が不足、吾々にできるのはどの範囲かと考えつつ信楽を後に……。

次は奈良県吉野郡大淀町立大淀桜ケ丘小学校を訪問しました。桜

ケ丘小は四十七、四十八年度文部省と奈良県教委の同和教育の研究指定校でした。研究主題は「解放への力量を培う集団をどう育てるか」であり、説明の中に吾々教師にも、「あの子はひねくれている」「彼は頭が悪い」「誰それは粗暴だ」と決めつけたり、時には「なぜ宿題をしてこなかったか」「なんでそんなに忘れ物をするのか」と現象面だけをとらえてぐちをこぼしていた状況もあったようです。

子どもはひとりひとりかけがえのない存在であり、ひとりひとり大切にされなければならないが、子どもの幸せを阻むものは何か、どうしてそれを取り除くか、教師自身、差別をなくする努力が必要だ。そのために、しっくり足もとの問題をみつめよ。差別の現実から深く学びとれ。問題があれば家庭訪問をしろ。計画性のある実践のつみあげを、等々先輩のことばを実行したそうです。

子どもを変える前に教師自らの変革が必要だ。そのために関係図書による個人研修各種の研修会、講習会等を通じて研修を進めていくそのうちに、教師は自分の思っていることと、考えていることだけに終らせず、実態を明確にするため、諸調査を実施した結果、日頃感じていた事と調査結果では「ずれ」のある事におどろき、日々の実践について次のような事を点検したそうです。

○今でも授業がつめこみ主義で、一部の児童を対象にしていないだろうか。
○学習のおくれている子をそのままにしたり、出席しても「お客さま」扱いではないか。
○仲間はずれの子はいないか、その原因は。
○「あの子は」と終始きめつけていなかっただろうか。
○現象面だけとらえて問題解決できたとよろこんでいなかっただろうか。
○給食をいやがる子を無理に食べさせていなかっただろうか。
○忘れものを調査するなかで、その子の背景を考えてみた事があるだろうか。
○子どもの願いをうけとめ、きびしく分析してきただろうか。
○子どもとともに学び考え、追求していくということが言葉だけになっていなかっただろうか。

以上のような点を点検し、子どもを正しく見つめ子どもの力量を伸ばすとりくみをしたようです。

伝説散歩

飯盗人（めしぬすっと）

（はなし・笹岡武治）
（さし絵・平山昌幸）

とんとむかし

馬路の奥の方に、うんとしまかなハタラキ手がおったそうな。せっせこせっせこ働いて、おまけに食いものもうんと簡略して、サイモノというたら、ミソか大根ぐらいですましよったと。

あるときのことよ。もの好きな男がおってのう、このしまかな男をちっくとためしちゃろう思うて、わざと道のふちへ塩サバをまいちょいたそうな。

そうして、とおりかかるがを待ちかねちょったら、来た来た。向うの方から、しまかな男がゾウリがちびんようにと、ソロリソロリとやってきよると。

ほんでどうするじゃろうかと、見よったところが、やんがてしまかな男は、塩サバをみつけて足をとめたと。

ほいて男は、唾をゴクンとひん呑んで

「この飯ぬすっと！」

いうなり、足でバンとけとばしたそうな。

うまい魚を、飯にそえてくたら、よけくいすぎるきいかんというわけよのう。

昨年五月十日、土佐民話の会（主宰市原麟一郎さん）から「芸西伝説散歩」（土佐伝説散歩3）が発刊され、本村に伝わる、伝説、民話などが収録されています。今回から毎号一編ごと転載させていただくことにしました。

県外研修視察記

＝魚梁瀬中学校＝

今年は昨年の反省にたって、一学期の早い時期に県外研修視察を行ない、日々の教育実践にプラスさしていこうということで、六月に視察校への交渉、旅館の手配等全て完了して出発を待つばかりになっていたが、残念ながら、郡体が雨天で延び〳〵になり、止むなく二学期へということになってしまった。

事前に三回、職員会の議題に載せて、運動会の直後であわただしさもあったが、反面ほっとした気分の中を、十月十三日から十五日まで、二泊三日の県外研修視察に行かせていただいた。

選んだ学校は、宮崎市立宮崎西中学校（生徒数一、一五〇名）という、本校とはおよそ規模においても地域環境においても全く相反するといおうか、マンモス校だ。やゝもすると慣れ合いになり、厳しさの足りない小規模校にあっても、もみ抜かれている大規模校の実践の中からきっと吸収できるものがあると信じて……。

それに、将来のある若い先生方に大規模校の姿も見ておいて欲しかったから。

ところが、先達の地理不案内な場所で、しかも確認の不行届から大変なハプニングを生じてしまった。それは、「宮崎西中学校」の「西」という字を忘れて、「宮崎中学校」とタクシーの運転手に告げてしまったのである。行きついた先は問違いなく、「宮崎中学校」（生徒数一〇〇一名）という学校、ちょうど全校写生会で校内はヒッソリ閑としている。校長、教頭が出て来て話を通じようとしたが、通じる道理がない。でも、「遠路遥々」ということで上りこんでしまった。帰って早速、ねんごろにお礼とことわりの手紙は出したが、今考えると本当に「あつかましい」と言おうか、とんだ迷惑をかけてしまった。

「迷惑」と言えば、本命の「西中学校」へも本当に迷惑をかけてしまった。「宮崎中」で懇談の途中、「西中学校」の先生から宮崎中の校長宛に電話があり、その話の中で、私達の訪問のことを聞いたそうで、予定の一時三十分頃からずっと待っているとのこと。三時を少し廻っていたが、「宮崎中」をそこそこにして辞し「西中学校」へタクシーをとばした。

結局、少し時間には追われたが、二校を訪問する結果と相成ったのである。

以下、反省の職員会で出された意見や感想を抄出してみよう。

○授業参観が出来なかった点、残念だったが、二校訪問出来たことは対比できてよかったと思う（先達のミスを寛容してくれた同僚のありがたい声として拝聴した。）

○学力偏重で競争意識過剰のきらいはあるが、両校とも意欲的な取り組みがなされている。しかし、学習指導法など特筆して参考になるものは感じられなかった。

○大規模校の街の子らしく、ほとんどの生徒が会釈なども出来て気持がよいし、活気がある。（西中の休み時間の生徒の姿から）

○宮崎中の校長は、朝六時の出勤、教頭は帰りが、早くて六時半、七時頃が普通ときいて驚きの一語

○宮崎西中は教職員五三名という大世帯にPTAで雇った、「原紙切り」専門の人が二名、発表会を控えていることも多少は影響しているだろうが、それにしても、よく組織化され、夫々に資料も整備されて、学校全体がうまく回転しているように伺われた。

特に沢山な資料の中で感心したし、早速活用さしてもらっているものは、年間を通しての学校行事計画だ。一つ一つの行事に対してのきめ細かい、ねらい、展開、指導のポイント、評価の観点等が整備されている。ちょっと見かけない資料である。

○こうした反面、生徒を知るため、に大変な努力が払われている。生徒も先生を知らないので、「おんちゃん」呼ばわりも聞かれるとのこと。

○万引き、不純異性交友、家出などの非行問題は聞いたところでは、生徒数の割合からすると少ない方だが、矢張り、生徒を知る努力と共に相当な精力が注ぎこまれているように思われた。

○確かに刺激も少ないし、つい甘さも出てくるが、魚梁瀬中くらい人間的ふれ合いを基盤にして、環境に恵まれた学校はないと思う。今一つ、突込みをきかして頑張ろうという結論で反省会を閉じた。

さて、せっかくの機会だし、もう一つの大きな目的である「親睦を更に深める」ため、霧島へ足を伸した。勿論シーズンでもあり、タクシーで肩を寄せ合って新婚旅行を楽しんでいるカップルにも幾組か出あった。同行八名中四名まで適齢期の独身の同僚に少しは刺激になっただろうか。そう願うだけでも、学校視察に加えて意義深い研修旅行になったと思う。

しかし、残念だったことが二つある。一つは校長が病休中で参加出来なかったこと。そして今一つは、四月当初から兼務でお世話になっている、養護の本間先生が予算の都合と小学校の研修旅行が接近していたために同行出来なかったことである。

秋には移転へ

馬路小学校校舎改築工事起工式

馬路小学校（岡崎理一校長、一〇〇人）の校舎改築工事起工式が去る一月十四日、馬路村体育館に関係者ら七十人が出席して行われた。

新校舎は教育団地南の四千八百平方㍍の敷地に移転建築され、建物は鉄筋コンクリート二階建て延べ一千六百四十三平方㍍教育効果を高めるため特別教室の整備に重点を置き、暖房完備。五十一年度から二ケ年継続事業で、総工費、一億六千五十万円。七月末完成を目指しており、子供たちは二学期から新校舎で学べる見込み。

起工式では村長らが玉ぐしをささげて工事の安全祈願しました。現校舎跡地には就業改善センターが建設される見通し。